

問1.	フランス人とのパーティー・食事でどのような話題が適当ですか？(あるいは不適当な話題は何ですか？)
1	料理、文化、旅行、音楽、映画、スポーツ、趣味。
2	* グルメの話は殆ど誰とでもOK、行きつけのレストランリストを持っている人が多く、こちらも持っているといい。和洋中etc. * 共通の友人・知人の事。
3	初対面又はあまり付き合いがなかった人との会話という前提で話します。この点では、相手の価値観なども分からないので、宗教や政治(政治的主張)の話は、避けた方がよいでしょう。フランス人に限らず、外国人は、通常「お前の家族はいるか?」「お前は、仕事以外の時間を(趣味など)どのように使っているか?」と聞いてきますので、このような話題から入っていくのが良いでしょう。ただし、家族の話については、独身者なども居るので、いきなり、子供の話をしたりするのは、避けた方がよいでしょう。少し親しくなっている場合には、フランスの歴史の話などを聞いてみるのも良いと思います。フランス人であれ、日本人であれ、相手を思いやって、話題を探ればよいでしょう。
4	一般的には、絵画、音楽、演劇等の芸術分野の話題が適当とされていますが、同時に背伸びも禁物です。私は身の丈に合った料理関連(特に、日仏比較がし易い食材を中心に)の話題を多用しました。フランス人も季節毎の食材の話題(例えば、今年のmelon de Cavaillonの評価)には、高い関心を示すので、当方の情報収集も重要です。
5	仕事の話は避ける、スポーツ、旅行、観劇等の話題が適当。
6	cinema グルメ 秋葉原
7	適当なのは、右と左のご婦人に花と香水の話題をすれば時間がたもてると昔、日本郵船の誰かが後輩に教えたという。今も同じか否か知らないが映画、演劇などが良いと思う。食事の際は固い話は一例えば政治とか一不適当とまで言わないが、議論を展開するのに骨が折れる。ともかく意見に反論ができれば、軽く会釈して話題を変えるのが無難です。
8	フランス人は文化、芸術等に造詣がある方が多く、日本や西洋の文化や芸術の事を話題にすると強く興味を示してくれます。一般教養が高い人は尊敬されます。
9	家庭に招待されたのであれば、お料理をほめ、作り方や、産地などを話題にする。ビジネス・ランチ以外の時は食事中に仕事の話はしない。
10	社交の場と初対面を前提にすると、交換した名刺から読取り得ることについて単純な質問から始めるのが無難。食材や味覚についての意見交換もよい。相互間に共通項が見つかれば話題は自然に展開する。話題を信仰など社会の価値観を生み出す源には及ぼさない方がよい。
11	パーティー: その時点で社会・経済・スポーツなど軽い話題。 食事: 限られた人との食事で文学、スポーツなど共通趣味についてかなり深く意見交換が出来ることが望ましい。
12	パーティーと食事ではSituationが違うので一概に言えない。しかし共通して言えるのは最初のうちはまず相手の興味がなんであるかそれとなく聞き出して、それを発展させていった方がよい。日本人との会話だから礼儀として日本のことが話題にしてくれることが多い。その方が組しやすい。なまじくフランスの時事問題などを自分の方から持ち出すと先方の独壇場になり逆に貴方の知性を疑われる危険性が付きまとう事認識あれ。
13	適した話題: 芸術文化全般、例、今面白いオペラ、コンサート、演劇、或いは展覧会等 デイナーの場合、仕事の話は避ける。カクテル・パーティーなら、ビジネスの問題も可能。
14	ワインの話: フランス人と共通の話題になる。シャトーやドメヌ、その地方、その歴史や文化、それにかかわる人々など話題は際限なく広がる。
15	日本のCultureについて特に生活様式、日本食、また、3月11日の話が必ずと言っていいほど話題に上ります。また、最近特に多いのが中国と日本の関係、日本の産業の空洞化等でしょうか。最近のEUの話特にドイツの一人勝ち、南ヨーロッパの経済悪化に対しては大変な感情論になります。これは相手を選ばないとサルコジさんの政治を含めてかなり難しい議論になりますね。
16	相手にもよりますが、ビジネス上でのパーティー・食事での会話は、文化・芸術・習慣の違い等をするように心がけています。一方、(家族ぐるみの友人が相手の場合は除いて)個人の上調査のような話題はしない。
17	・特にビジネスの場面では一層大切ですが、男性が女性と初対面で握手を交わしながら挨拶する場面に於いて男性からみて相手の女性の名前に敬称をつけて言う際に、未婚者かどうか判別がつかない場合がよくあります。その際マダムかドモアゼルか敬称の判断に迷うところですが、我々日本人の感覚では安全を見てドモアゼルを選ぶ傾向があるのはむしろ一般的でしょう。・然しこれは日本人の価値観であって、相手に対しどちらかと言うと失礼に当たります。日本の社会では女性の場合、単にワカイ(若い)ということだけがより敬意を示す便法になっているフシがありますが、むしろフランスでは人生観なりいろいろな経験を経て年輪を重ねた女性の方が尊敬され上と看做されますので、敬意を表することからすれば間違いなくドモアゼルではなくマダムが自然に使われます。仮に若く実際未婚者であってもいきなりドモアゼルを発せられると、相手は下にみられたということになりかねません。明らかに未婚者ではと思われても不明なときは敬意を表し、堂々とマダムの敬称を使うことで相手に失礼にならぬよう心掛けたいものです。
18	日本文化、例えば夫婦同伴ですと、生け花、茶道などには興味をもってくれる。フランス人が地方出身者ですと、その地方のワインの話や、会話の糸口になる。
19	私のスキー仲間のデュッセルドルフ駐在員が、ドイツでスキーに行くと、日本でも雪が降るのか、スキー場があるのかに始まって、延々と話をするのに、フランスでは、誰も話しかけて来ないからフランス人は冷たいと言った事があります。ノルマンディー代表団との会食のときに、「それで、どう答えたか」と聞かれたので、「フランス人は愚にも付かない質問で、外人観光客を悩ませるような事はしないのだ」と答えたと言った、大喜びでした。フランス人が飽き飽きしているような事は避ける、さもなければ壁の華になってしまいます。普遍的な、ときに即した社会・経済論、文化論に独自の見解を盛り込んだ話題等は良いでしょう。政治論も自分が公務員以外の人なら、良いでしょう。
20	最近の世界の出来事、日仏の動向等より入り、家族の状況等にも軽く触れるなどして、楽しい雰囲気醸成すると良い。オープンな中にも知性と品位を保つこと。プライベート(特に男女関係)、及び宗教的話題は避けること。
21	相手が官僚や経済人の場合は政治、経済、社会一般にわたる。歴史の比較や人物評価も興味がある。美術、文学を始め、趣味一般は話題が広がる。家族、信仰など個人生活に関わることは少なくとも最初は避ける。
22	適当: 政治、EU、外交、経済、歴史、料理、ワイン、チーズ、レストラン、旅行、家族 不適当: 宗教(信仰する宗教を問われたら無宗教と答えずに、仏教、神道など日頃多少なりとも関わりを持っている宗教名を挙げて置いた方がよい)。
23	フランスでも話題となっているイベント(テニスのロランギャロス、映画、演劇、美術館の展示など)をまず話題にすること。食事中は出ている食材、料理方法など。フランスの観光地を訪れた際の印象などを話すのも良い。あとはフランス人側から語りかけてくる話題にはすべて自分の知っている範囲できちんと簡潔に答えること(答えすぎないこと)。
24	特にフランス人だからと、話題を選んだことはありません。彼等は自分達の国民性について時に自虐的な発言をすることがあります。正に同感と思っても、そんな時は決して同調しないことをお勧めします。自ら欠点を話すことはあっても、外国人から同様の指摘は受けたくないと言う、プライドは持っているからです。
25	若い人でも政治的な話題を好むフランス人が多い様に感じます。ただ選挙権はないので、理解した上での発言、意見を求められる事も。お互いの国の文化の話題。日本文化を好む、知りたい方は多く、日本人よりも知識がある方も多いです。宗教の話は避けます。
26	フランス人とのパーティー・食事の場での話題は相手によりけりですが、仕事話抜きとすると食事に関する話題、良かったレストランとか日本料理など食に関するものが適当でしょう。芸術とか美術などの話は当方がついて行けなかったですね。
27	美味しいレストランの話や食べ物、飲み物の話は、普通に盛り上がる。日本在住のフランス人であれば、フレンチだけでなく、和食の美味しいお店なども含め。あとは、旅行の話。また、(フランスの学校の)同窓生ということがわかると、そのことでも盛り上がる。

問2.	フランス人との交渉を上手く進めていくコツは何ですか？(皆様が失敗した経験でも結構です。)
1	十分時間をかけて、あせらず、理詰め。
2	* とにかくストレート=本音であるべき、テクニクはダメ。 * 失敗例; 言葉の通じない相手だからと、日本語で悪口を言ったら雰囲気で伝わった。 * 随分昔だが契約祝いの席で、高級和食店がイセエビの生き造りを出してくれたが、夫人が気絶して契約が不調になった。(日本人以外は生きて立派な鯛やエビは難しい。)
3	基本的には、フランス語を自分の意見を適切に表現できるだけの能力は身に付けることです(上手になる必要はないと思います。)。これもフランス語に限ったことではありませんが、相手と共通の言語で話すことにより、当方の意図が直接伝わります。又、少々下手でも、相手もこちらが分かるような話し方をしてくれます。こちらから話すときには、もって回った言い方をしないで、直接切り込んだ方がよいでしょう。ただし、フランス人のエリートは、条件法(英語で言う仮定法で、イギリス人のエリートは良く使う傾向があることは同じ。)を多用する傾向があります。注意しないと逆の意味で反しているので注意する必要があります。ただし、これは、日本人でも京都の人と話すとき(差別的な表現ではありません。))にもあることで、教養のある人を相手にするときに気をつけるという共通の原則と思えば、良いでしょう。
4	単純にoui, non で返事するのではなく、その背景となる論理の組立てにも配慮すべきです。先方の意見に、単純に、“Oui, D'accord!”と応じると、却って軽蔑されます。むしろ、反論を堂々と説得力のある理由を付して述べる方が尊敬されます。こうして、人間としての信頼を得ることが、交渉が上手く行くコツだと思います。
5	最初からBusinessの話に入るのは好ましくない、趣味の話から始めるのが無難、米国流のBusinee Talkは歓迎されない。
6	人間性 個性 出して 仕事 する
7	ロジカルだと信頼されるのがコツではないですか。商談でもコンサルサービスでも彼らは日本人から見ればとても理屈っぽいですからね。仏の大企業のコンサルタツを3年ぐらいやってみましたが、互いの期待を合致させるのはやはり相当の苦勞でした。
8	商談よりもまず、信頼関係を築き互いに友情を感じあえるとスムーズに進みます。また、家族どうしの友情も大切になります。権威主義的ではないので、地位や富より、一人の人間として互いに尊敬しあえる事が大切です。
9	期限を守らない人が多いので、余裕を持って期日の設定をすること。返事が来なければ催促することをためらわないこと。
10	約束の厳守と敏速で誠実な実行。リスク・オフに終始していたら交渉は失敗に終わろう。
11	誠意を持ってことにあたり論理を組み立て、数字に強いことを印象つけるように準備をする
12	Qualitative (定性的) Quantitative (定量的) の部分を整理して議論を進めると良い。感情豊かな? 国民性からどうしても議論が定性的になりがち。定量的な議論も実数と比率の両方を持ち、適宜使い分けるほうが良いと思われる。一万ユーロの議論で袋小路に入りそうになっても、それが1%相当のものだとすれば、議論の方向も変わるかも知れない。他のポイントは決断時期というかデッドラインを合意すると良い。但しそこに至る過程は日仏で格差があるので途中でイライラして相手に食って掛からないこと。具体的には日本はデッドラインまでのスケジュールをキチンとたて進捗状況を把握する習慣があるがフランスでは必ずしもそうではない。しかしちゃんと落としどころは心得ており期限通りの物事が決まったり、実行されることが多い。
13	まずフランス語で交渉すること。できれば、ランチに招待するのが良い。特にミシュランで星つきのレストラン
14	① 自分がどのような権限を持つ人間であるかをはっきり示す。② ネゴに入る前に、オープンマインドな人間であることを分ってもらって雰囲気づくりに努める。③ 議事録を正確に作って相手と確認する。
15	最初からすべての希望を明確に(但し、120-130%くらいの条件を提示)して70-80%の結果を最低限 Secureすることでしょうか。(これは非常に古いやり方ですが、)但し、小出しはうまくいかないという経験があります。また、できるだけ先方の要求を言わせることが大事でしょう。
16	1. 言葉足らずで、誤解を招かないように! 「季下に冠を正さず」を心がけている。 2. こちらの発言に対してのフランス人の反応は必ずしも日本的に予期したものではないことを認識し、出来るだけ詳細まで話をすることが大切。
17	・日本におけるビジネスの価値観は、日本という歴史と文化の上に立って永年に亘り構築されたもので、世界の中ではむしろとても特殊であった日本の常識は世界の常識に殆ど通用しないものと、先ずその違いをしっかりと認識しておく必要があります。・勿論'価格競争'という点だけは間違いなくビジネス世界で普遍的なこととして疑う余地は無しですがこれを除くと、殆どの価値観は欧米はもちろんアジアでさえも異なることが多く、要すれば相手に見合った価値観の上着にきっちり着替えて向き合えないと全く通用しない、ということが深く入れば入るほど如実に遭遇することになります。・ビジネスの究極の目的は利潤を最大限に獲得しようとするものですから出来る限り高値で販売しようとするのは必然の成り行きです。然し、実際の販売競争が行われる現場では、高度な技術力と開発力を推し進めることで商品価値を高めたり、またプラントのごとき案件では日本が得意とする納期遅延ゼロを武器に漕ぎつけなければならないなど必死に努力を重ねているのが常ですが、実はこういった価値観は日本だけに受け入れられる価値観であって、フランスを含む世界の市場では時として全く評価されないことが多分にあることを、どうしても認識せざるを得ません。・フランス人が、果して何を求め何にどう評価しようとしているのか、その国の歴史や文化、生活環境などの背景にあり多分に我々には見えない価値観が存在しているの、それを見抜く力を養うことが交渉力となって発揮されてくることでしょう。・事例を挙げれば、日本の自動車用高級鋼板は日本の自動車産業向けに実に多くの実績がありそれ踏まえて世界に市場へ拡販に努力を重ねていますが、一方フランスを含む欧州各国の自動車産業はそれに全く見向きもありませんでした。理由は価値観が、鋼板の品質ではなく鋼板に関わる塗装技術に大きく優先されていたことが後になって当時判明しました。良かれと思っていた自身の価値観が市場によって見事に異なり、又かクギとなった一例でもあります。
18	交渉の際に、同意できない時、「検討しておきます」などと、曖昧に言わずに、Oui, Non をはっきり言う事が誤解をさける。駐在員の場合、日本側に立って仕事をしているが、フランス側の意見が正しいと思う時は、フランス側に立って東京本社を説得した。
19	バリクラブ10年誌に寄稿しましたが、相手を怒らせないで、自分の主張は全て言うことが大切です。飽くまでもポライトで、迂回的な言い回し、比喻等も交えて、自分の狙う落としどころに如何にして持って行くかの組立も重要です。然し場合によっては、高圧的な態度に出ることも必要であり、状況判断を正確に行うことが欠かせません。それから、自分の権限範囲なら、会議中に答えを出すことが、必要です。東京に気兼ねして、先送りにしては、駄目です。フランスで尊敬されるのは、オピニオンリーダーたり得る人です。
20	フランス人は内面的には非常に誇りが高く、日本人よりも成熟している。従って大局的且つポジティブな姿勢で交渉を進めること。細部に拘らない。
21	緩急自在が必要。話の流れの中で局面の転換を試みる。また相手の経歴、関心などをよく調べて置き、話題に取り上げる。論理的矛盾の指摘を忘れない。
22	フランス人に限らないが、外国人相手の場合には特に、論拠を明確にして理路整然と主張すべきは徹底的に主張すること。中途半端な譲歩は禁物。両者の主張が全て出尽くした処で妥協点(落としどころ)を見つける交渉に入ること。
23	自己紹介は簡単に。いきなり話題の核心に入り、相手が即断できるようにこちらの提案の利害得失を一言で説明する。相手の立場を慮ることは不要。日本では上下関係を意識することが多いが、フランスでは業務関係は対等。説明は必ずフランス語で。つたない言葉でも直接伝えるほうが信頼される。
24	日本人同士の交渉よりズットやりやすいと思います。本音をズバリと表現しておりました。先方も言いたい放題でした。そこから妥協点を探ることは、万国共通だと思います。
25	見極めが難しいのですが、日本人の謙虚さも必要な中、フランス人的強引さも必要。何も決まらなくとも、決定的に物事を言う事。
26	フランス人との交渉をうまくすすめるには交渉ごとの情報を各方面から十分仕入れておく必要があると思います。また、できるだけ相手に話をさせ共通の話題を引き出すことも必要でしょう。
27	こちらが偉そうにしないこと。フランス人は、基本的に気位が高いので、相手をリスペクトしていることを示しながら、こちらの意向を伝える。ヒエラルキーが大事な国なので、組織の縦のラインの間を飛ばして、直接上の人に話をしていたりすると、大変気になる(不快に思う)人が多いように思う。

問3.	フランス人への贈答やフランス人を訪問する際のマナーやコツは何がありますか？
1	花、ワイン、日本の伝統工芸品。
2	*数年間ビジネスをして、帰国する際に開いてくれる送別の宴は自宅とか超高級レストランとかで、下さる饞別の品も一ヶタ違う。半端な事はしない様だ。*アミ(親友)と知人はハッキリ区別する様だ。アミのアミはアミだが極少数。
3	お土産を持っていくのは、アジア的習慣という気もしますが、現在は、友人を訪ねるので、相手が何を気に入っているか分かっているのでそれを持っていきます。日本から持って行って無難なのは、版畫の複製、七宝焼き、西陣織のテーブルセンター等と思います。当日、お花を買って持って行ったこともあります。これも相手の気持ちを思いやったことが表せるものであれば良いでしょう。
4	フランス人は、贈り物を受け取ることにあまり躊躇しません。初めての訪問には、それが仮令、役所関係であっても、贈り物を持っていった方がいい(先方のランクが下がれば、下がるほど有効)。高級チョコレート、貴重な花束は、特に好まれます。ただし、量を適当にコントロールすることが重要です。
5	相手の立場、相手との関係にもよるが、贈答品は相手の負担にならない物、訪問は必ずAppointmentをとる。但し親しい仲なら別。
6	デザートと重なるかもしれないので生菓子 さける。香水瓶 あげた 時 何のためと聞かれた 明確に 答えねば と思い ソフレ に連れて 行って と いった
7	異文化の間の交流ですから、やはり率直に相手の意向を聞いてみることでないでしょうか。彼らの特性というものはありますが、やはり個人差が大きな要素であることも事実だと思います。
8	贈答品は高価であるより、適切に選ぶ事が重要です。相手が何を喜びか考える事。日本の工芸、民芸品など喜ばれます。それらの品の説明を的確にしてあげるとさらに喜ばれます。金額より、精神的な質の高さが重要です。訪問する際は話題を用意しておく事が大切です。
9	花束は男性から男性には渡さない。ナイフ類(切るもの)をどうしてもプレゼントしたい場合はコインも一緒に。
10	相手のことをよく勉強して訪問すること。有償性や反対給付の期待がまる見えのような物品持参は社交の埒外で効果はマイナス。手作りの品あるいは庭先の花や果物などは、話題を自然に展開させ好印象を与える効果あり。
11	家庭訪問は花束が喜ばれる。万年筆など筆記、文具用品が喜ばれた。(PC時代に適当か否か不明)
12	・フランスは金に関するスキャンダルには厳しいので賄賂性を感じさせるものは要注意。高価でなく気の利いたものという難しい選択になるが相手に負担を感じさせない事。・「あの人はXXYYが好きだ。」という情報には要注意。その品物ばかり受け取る羽目になっていることが多い。(同様に本人が「これはおいしい。」と言ったとかも要注意) ・企業・官庁などへは約束の15分前に、個人宅への夕食などの訪問には15分くらい遅れる。前者は約束した本人にあなたの到着が通知されるまで日本よりずっと時間が掛かるケースが多い。後者は日本でも同じであろう。主婦は準備が大変なのです。
13	自宅に食事に招待された場合、少し遅れていくのが礼儀。贈答なら真に日本のものが良い。
14	訪問後に、時間をおかずに手紙やe-mailで友好的な有益な邂逅であったことを表明する。
15	明らかに金額の張るものは嫌われます。金額がわからないもの、但し、簡単には見つからないものを探し出しプレゼントをしておりました。また、相手によりますが日本の物を送るケースが多々ありました。
16	1. 家庭に呼ばれるなら、時間に多少(15~20分程度は)遅れていくこと。 2. 贈り物は、一般的に花が無難。日本的なお土産も良いが、相手が女性なら女性の浮世絵は上げないようにしている。
17	・フランス人の自宅に訪問する際に華美でない何か適当な贈答品がないか、その準備に悩むことがよくあります。我々日本人の感覚ではクッキーとかチョコその他嗜好品の類がすぐに頭に浮かびますが、これは日本の文化に根差した日本的な価値観から来るものであって、相手には必ずしも好まれないと言うのが一般的です(特に口にするものについてはそう言えるかも知れません。勿論親交に多くの時間が重ねれば違ってくるでしょう)。 ・ある程度彼らに喜んで幅広く受け入れられるものの代表格は、やはり花束に尽きるとお考えになって良しと言い切れましょう。彼らにとつとりわけ切り花に対しては、接し方のいろいろな楽しみ方を日本人以上に生活の中に取り入れてきていますので、必然的に街のお花屋さんでも花の取り扱いには千差万別、色の取り合わせやプレゼントに見たてた包装さえも色々な仕様を見事に心得ていて、とても楽しいものです。是非一度フラワーショップをお尋ねいただき、贈られてワクワクするようなその有様を体験されれば、これはというものが必ずや見つかるものと思います。 ・贈答品の選定は、交流の深さやお付き合いの程度など場面に依りますが、一般的に言えば 訪問後に相手の記憶が時間と共に薄れていくと同様に、差し上げたものが同じようなタイミングで薄れていくものが望ましいと心得たら良いかも知れません。いつまでも形として残る贈答品は、結局は邪魔となっていく運命にあり出来るだけそれは避けた方が好ましいと心ざされては如何でしょうか。 念のためですが、お付き合いがある程度進んで来れば、日本の文化を感じさせるもの、彼らにとっては木製や瀬戸物の器と言った珍しい装飾になるものが適当になってくる場面もあるかと思われます。
18	訪問する際、約束の時間より早くならないようにする。少し遅れる方がよい。 飲食物は招待側が準備するとの習慣であるが、気心の知れた仲では、ワインを手土産にしても喜ばれる。
19	郷に入っては、郷に従えです。私は、重要取引先の副社長が急逝したときに、日本流の献花、(花輪)を贈ろうとして、先輩格のフランス人に強く窘められたことがあります。Cadeau de Fin d'annee で、馴れ合いで、馴れ合いで、会社の費用で高価な品を贈り合う人も居ますが、ある程度は付き合い合う必要もあるでしょう。食事に招待するときは、同時に日取りの相談をしなければ、儀礼的な誠意の無い申し出ととられます。
20	訪問先のフランス人の趣味にも依るが、日本的な工芸品・茶菓或いは生花等を持参し、楽しく有意義な会話に努める。プライベートに踏み込んだ話は避ける。家庭を訪問する場合、約束よりは少し(5分程度)遅れて訪問した方が良さそう。
21	フランス人への贈答は日本人の場合よりは簡素と思われるので、友人となればフランス流に従ってゆくが、最初は一般の外人への贈答の前例、マニュアルなどが参考か。
22	贈答品としては日本人形、日本の陶磁器、民芸品などが喜ばれる。訪問の際はブーケが良い(飲み物、食べ物とは避けた方がよい)
23	お呼ばれの際のマナーは、てぶらで行かないこと。奥様に花束を持っていく。花の茎が長いものが喜ばれる。日本からの写真集、音楽CDなども喜ばれる。日本のお菓子、特に小豆味のもののはだめ。彼らは小豆味に慣れてないから。どうしても和菓子を持っていきたくれば京都の干菓子がよい。日本料理に砂糖を入れることができることはできるだけ話題にしないこと。フランスでは砂糖を入れるのはお菓子だけという不文律がある。
24	初めてフランス人のご家庭に呼ばれた時、ご案内戴いた時間きっかりに伺ったら、驚かれた様子でした。他のフランス人のお客様は、20分~30分遅れて来られておりました。贈答品については、特に考えたことはありませんでした。お花とか、チョコレートとかを差し上げました。切り花を差し上げた時、ホステスは花瓶を準備したり、少々手間をお掛けしたように思えます。
25	“和物”を持って行く事が多いです。ディナーでワインを持って行くときも、好みの銘柄を把握して行くのはもちろん、それを風呂敷で包んで持って行ったり。学生のフェットでも、絶対に手ぶらでは行かない。また訪問する際は、日本人の5分前行動とは違って、5分~10分遅れて伺います。
26	フランス人への贈答などにはあまり気を使わなかったと思います。家に招待された時などは花や日本の土産などを持って行きました。
27	ホームパーティーに誘われた場合、お酒(ワイン)などより、デザートを持っていくことが一般的な気がした。なぜなら、ホストの家の料理が何かわからないのに、合わせられるワインを持っていくのは難しい、ホスト側も渡されても、負担になってしまうと思う。ただし、事前に何を持って行った方がよいか聞いておいて(もしくはお酒を持って行きたいけど、何かリクエストあるか?など)贈るのは問題ないと思う。あと、日本ではデザート感覚で、フルーツを持っていったりするが、フランスではフルーツが日本と比較すると安いので、安っぽく感じられ、土産には適さないと言われたことがある。

問4.	仕事以外でフランス人とうまく付き合うための、あなたのコツをお教え下さい。
1	相手の立場を理解する。相手の長所に気付き、引き出すようにする。
2	* 仕事とは関係ない。人間同士、個人の人格、性格をぶつけるしかない。(日本人は、初めはタテマエ、ウワベが多い。フランス人は、初めはブッキラボーだがイジが悪いと取らない方が良い。)
3	結局は、自分の個性を正直にさらけ出すことでしょう。ただし、そのあらし方は、上品に行うことでしょう。
4	問2.と同様、やはり人間としての信頼を得ることが最も重要です。
5	フランス人の前ではあまり他国のことを褒めない、特にアメリカについては要注意
6	あまり詮索しない フランス人女性 はfacebook 少し の友達だけしか入れない
7	コツと言えるような経験はありません。随分良くしてくれる知り合い、友達、先生などは相当数います。相手の個性、好みなど知ったらそれに合わせるように努めることだけです。仕事では難しくなった相手はかなりいますが、仕事以外ではそれほど困難に陥った事はありません。留学の経験では若者が相手でしたからオープンマインドで付き合いば親密になれたと思います。J.Jなどは今年で40年の付き合いになります。
8	少し仲良くなったなら、昼食を一緒にする事です。次には夕食です。食事をしながら、文化、芸術、家族の事、時事等の話をして、情報と意見交換をします。日本人は飲み会とゴルフですが、フランスは食事です。節度をわきまえ、酔っ払う程は飲まない事。日本とは違って、酔っ払って意気投合する事は
9	一定の距離をおきながらも、気易く話・相談にのってあげる。
10	マメに手紙やe-mailを呈すること
11	郷に入れば郷に従い、奢らず、卑下せず 常に同じ目線で付き合う。
12	* 先方から話さない限り、個人的なことを詮索しないほうが良い。(但し、「バカンスはいかがですか」程度は通常の日常会話です。)・Vous (あなた)の語りかけからTu(君、あなた)への移行は無理しないほうが良い。Vousのままでも十分良い意味で信頼関係も築ける。逆に表面的Tuは実りが少ない。
13	ヴァカンスを共に過ごす。自宅にディナーに呼ぶ。
14	日本の訪問時には歓待する。先方に行ったときには遠慮なく歓待を受ける。いつも夫妻で行動する。
15	フランス人はCommunityを作るケースが多々あり、その中に入ると非常にConforableな世界ができていい関係が長く続いております。最初のCommunityのBuildingには必ずお誘いが月に何回かかかりそれに定期的に参加して参りました。2つのケースですが20年ほど続いております。数は少なくても深いほうが私の主義に合っていますので。
16	1. フランス語で徹底的に話をする。 2. 相手が自分勝手でも、此方はいつも誠意を尽くして、かゆいところに手が届くような対応をしていくことで、強い信頼感を得られると思う。
17	* 知的レベル層に必ずしも限ったことではありませんが、フランス人の文化(カルチャー)に対する興味のほどは、日本人のそれとは比較にならないほど強く持っていることがあると言っても、決して過言では有りません。 又、彼らも持っている文化という概念は、歴史の中で過去の文化(有形無形で芸術、工芸、衣食住等々)を指しているのみならず、彼らにとっては過去の文化が延々と現在の生活の中に溶け込んで現在の文化として変身していることそのことが大切な点だとして、捉えています。 過去の文化がどのように変化して今に捉えられているのか、この点を知る。 彼らの興味の点は正にそこに注がれています。・従い、我々は日本の文化というものを振り返り、そして過去の文化が現在に脈々と継続して繋がりが息づいていること、この点の事例を紹介することが出来たら、フランス人にとっては間違いなく大変興味を惹く内容となることでしょう。 このことを、どうか頭の隅に入れて頂きたいと思います。 卑近な事例ですが、日本人には親しみある東北地方での古来から使われているワラジ(草鞋)。 此れはどんな素材でどんな風に作られ、そして生活に使用されて来たか、又それが現在の生活ではどんな風に応用され今使われているのか、そんな一連の流れが最も興味のひくところですよ。
18	フランス人の家庭に招待されたら、返礼として自宅に招待し、家族ぐるみの付き合いをする。時には、自分の友人夫妻も招待して、フランス人夫妻を紹介することによって、知人の輪を広げていく。
19	矢張り、ホビー、趣味、家族ぐるみの付き合いが、大切です。同じホビーを持って居なくても、相手のホビーに理解を示すことが必要です。私は、自転車好きのフランス人に随分、日本から自転車の特殊部品等を取り寄せてやっただけあります。
20	誠意を以て接すること。ギブアンドテークの精神と姿勢が必要。文化的素養を重んじるので文化的、歴史的知識が肝要。
21	フランクに付き合うことが大切で、下手でもフランス語で話すこと。
22	「相手はフランス人、自分は日本人」と言う意識を完全に無くし、互いに尊敬し合い、気の合った仲間として接すること(親友に国籍はない)。自宅に招いたり招かれたり「家族ぐるみの付き合い」になれば本物。英語でできないことはないが、成るべくフランス語で会話をする事。
23	家族つきあいができれば一生の友人になれる。家に呼ばれば必ず1年以内に自宅(アパート)に呼び返す。来てくれれば、家の中をすべて見せ、家族全員を紹介する。普段から相手の時間をとったり、生活の邪魔をしないこと。季節の挨拶、誕生日のお祝いなどはいっさい不要。相手が何か言ってきたら最優先で仕事を放り出してもつきあう。
24	フランス人だから、と言う特別なコツはないような気がします。あくまでその方の個性によると思います。
25	相手に合わせる事なく、“自分の意見”をはっきりと伝える事。やはり根本的に違うので、わからない事は徹底的に聞く。
26	日本に関心の高い人と話す場合、相撲とか柔道などの話をするに興味を示すような気がします。来日した人を両国の江戸東京博物館に連れていくと喜ぶ。また、子供連れの場合、埼玉の鉄道博物館などもいいかもしれません。
27	こちらで何もせずに、フランス人コミュニティーに溶け込んでいく、話しかけられるのを待っているのは厳しいので、こちらから積極的に話をするようにする。日本人と比較すると、相手に合わすことがあまり無い国民性だと思うので、彼らがこちらに合わせてくれなくても気にしないこと(別に、こちらのことを嫌いなわけではないと思う)。

問5.	以上のほかに、これからフランスやフランス人と関わりを持とうとする若者へ、あなたからのアドバイスが特にあればご回答ください。
1	日本人としての背景を持ち、日本文化を理解した上で、彼我の違いに立脚し、相互理解を深めるようにする。
2	* 日本語の話せないフランス人は英語を話したがる。(フランス人は英語を嫌い、判っても判らないふりをするとする人が居るが、私は一度も出会った事が無い。)
3	フランス人を見ず知らずの人間いきなり心を開くことはありません。この点は、実は、日本人である我々自身がまさにそうです。しかし、こちらを理解するにつれて、それに応じた付き合いをしてきて、迎え入れてくれます。この点、アメリカ人が、一見、直ぐ受け容れてくれそうな感じに見えますが、彼等は、最初に受け容れてくれる範囲が広いのですが、深くはありません。深くするには、時間がかかります。したがって、焦らず、長期的な視点に立って、付き合いことです。また、基本的な素養として、日本の歴史や文化の知識(高校で習う程度のことは最低です。)、フランスの歴史や文化(これは、最初、日本の高校で習う程度のことも良い)を知っていることです。
4	フランス人は、発想・行動力が、日本人とはかなり異なりますので、先入観、偏見を持たずに付き合い合うことが肝要です。
5	フランスの歴史や文化を有る程度頭に入れておくことで付き合いがスムーズにゆく。
6	
7	アドバイスといえるほど偉そうなことはありません。ただマナーとか彼らの許容しない習慣とかは事前に学んでおくことは出来ずからこれを心がけてください。
8	自分のアイデンティティを明確にすること。自分の宗教とか思想です。結果だけでなく、結果に至るプロセスを説明する事。日本人同士なら、結果だけ言えば、阿吽の呼吸で理解しあえますが、彼らはどうしてその結果に成るのか説明しないと納得しません。感情的にならず、理論的に考え、表現する習慣を身に着ける事。日本(文化、宗教、歴史、政治等)を勉強する事。
9	まずは友達をつくる努力を怠らないこと。積極的に自分から声をかけ、自分に出来ることがあれば進んで申し出る。スポーツなど、ことばがうまくなくてもできることがあれば、それを通して友情を深める。
10	エマニュエル・トッドは、一部を除くフランス人の基本的価値観は自由と平等にあって、移民を本質的に異なる人間と見なさず、混血に許容的、これに対して本邦人の基本的価値観は権威と不平等にあって、移民を異なる人間と見なし、混血に拒否的だという。こんな見方も弁えておくのがよい。
11	2011年7月に旧友宅に招かれ1961年以来50年の友情をふり返り感慨を新たに。日仏共通で次世代、孫たちとの伝承されているマンガ本の話題で盛り上がった。
12	別にフランスに限ったことではないと思うが、・知らない環境におかれたらまず周囲がどのように行動しているか観察すること。(例:テーブルについても周りが食べ始める前に飲食しない等) ・如何に無理難題だと思われても聞く姿勢は持ち続けることが望ましい。そして相手が「自分の言い分が理解された」と感じて貰えれば障害が一掃されたことになると思えばよい。相手も自分の言い分が全部通るなどと思っていないことが多い。・白黒急いで付けなくても良いと思われる。真実は灰色の部分にあるという考え方はフランスでは比較的広く受け入れられている。
13	フランス人は狭い社会で付き合い合っているので、閉鎖的です。従って、徐々に親しくなるよう心がけることが 必要。アメリカ人のように初対面でも10年前から知っているような態度は取らない。 初めのうちは節度と礼儀を失しないようにする。
14	フランス人に限らず、オープンマインドであること、
15	月並みですが、はっきりと思っていることを言うこと。また、言葉ができなくともHesitateしないこと。考えがきちっとしていれば相手の方はわかりますからね。
16	まずは、飛び込んでみる。 意外と日本人に近いところも発見できる。信頼を作ること。
17	(1)フランス国民がその社会でどういう価値観を以て生活しているのか一度自身で日本史と比較しながら歴史を掘り下げ、一定の尺度となる価値観を自身で固め持て欲しい。 フランス人が持つ現在のその意識の中で、何を問題にして・何を楽しみにし・何を求めているのか、を引き出すことが出来れば、その認識が土台となり仕事面でも友人との交流でも色々なところできっと有益となることに違いありません。(2)日仏間の文化の違いを、歴史から改めて学びとって欲しい。 世界大戦を経てフランスの石炭産業に端を発しフランスとドイツが中心となり欧州共同体が出来上がり、フランスは其の過程で欧州各国の中でどんな位置づけを果たしてきたのか、近代それを紐解くだけでも現在のフランス人の生活の気持ちの根底そして価値観が伺い知れることとなります。一つでもそれを自身で発見することが出来れば、フランス人との会話そして交流の高まりに一層役立つものと思います。
18	代表的な日本文化の一つか、二つ、フランス人に説明できるように準備しておく。
19	上記で、略々尽きていると思いますが、矢張りフランス語が堪能になることが大切です。英語が堪能なフランス人でも、英語では、建前論しか話さず、フランス語になって初めて本音が出て来るのが往々にしてあります。フランスは、言葉の国です。De Galle が演説の際 Chien lit と云う聞き慣れない言葉を使った時等、それについて何日も新聞や週刊誌で論争が、続いていました。尚、Argo, lowteen の使う Vocabulary はちゃんとした席では使わないこと。品格を疑われます。
20	誠意を以てギブアンドテイクの精神で接すること。相手を尊敬し、且つ多様性を認め、尊重すること。基本的に人間は同じであり、国を超えて基本的価値観は同じであるという認識を持てば良い。文化的素養は絶対に必要。
21	日本についての発信力を持つこと。
22	フランスのファンになるのは良いが「あばたも笑窪」的惚れ込みは禁物。相手の長所と短所を見極め「フランスの良き理解者」となるよう努めること。同時に相手にも日本や日本人の良き理解者となって貰うよう、常に心がけること。
23	日本人は、人付き合いが何かと細かいが、これはフランス人にとってはわざわざわしいだけ。しかし、必要などときには何を措いても飛んで来てくれるし、どんな無理も通してくれる。この貴重な友人関係を乱用しないこと。
24	つまらぬことで不快感を与えぬよう、彼等の日常のマナー、エチケットについては知っておくべきでしょう。特に食事時のマナー、自分だけドアーを通り抜けないで、後から来る人の為にドアーを支えることなど。
25	日本好きなフランス人が多く、歴史も文化も勉強してる人が多いので、きちんと学んでおく事の必要性を感じます。批判をするのではなく、お互いの文化を理解し、両国の良さを出して行く様にして行く事の大切さを。
26	私の経験は1980年代までのことですから今でも通用するかどうか正直な所わかりません。若い人達には是非日本に関する知識を十分勉強することが必要でしょう。最初の会話の際、共通の話題は何か、何を知られているかなど知ることが大切だと思います。日仏の経済関係が次第に薄れてきていますが、まだフランスはアフリカなどの関係も深く、教えて貰うことも多いと思います。人間関係を深め、お互いに尊重し合うことも大切だと思います。
27	フランス人は、フランス語で話しかけないと嫌がられるとか、英語を理解してくれないとか言う人も多いが、日本人の英語の許容度合いよりは、よっぽど高いと思う。ただ、(当たり前だが)、フランス語で話しかける方が、英語よりも喜ばれ、優しくしてくれる気がするので、フランスコミュニティに入っていく場合、フランス語が少しでも話せれば尚良いと思う。

パルクラブ会員でこのアンケートに回答していただいた方は次の皆様です。

相谷光則、蘆野進(No.24の回答)、荒木いさお、猪瀬威雄、今井正幸、上村皓示、大森順子、小阪田嘉昭(No.18の回答)、畔柳博年、佐藤康夫、澤田義博(No.13の回答)、七里淳哲(No.14の回答)、錫村寛海、関口昭茂(No.17の回答)、関本勘次、高田方一郎(No.19の回答)、武田康弘、富永孝雄、中澤妥伊子、中野幸紀、原田靖博、福本しのぶ、アニエス、保坂武雄、牧陽子、宮原英男、矢崎浩一、横堀恵一